

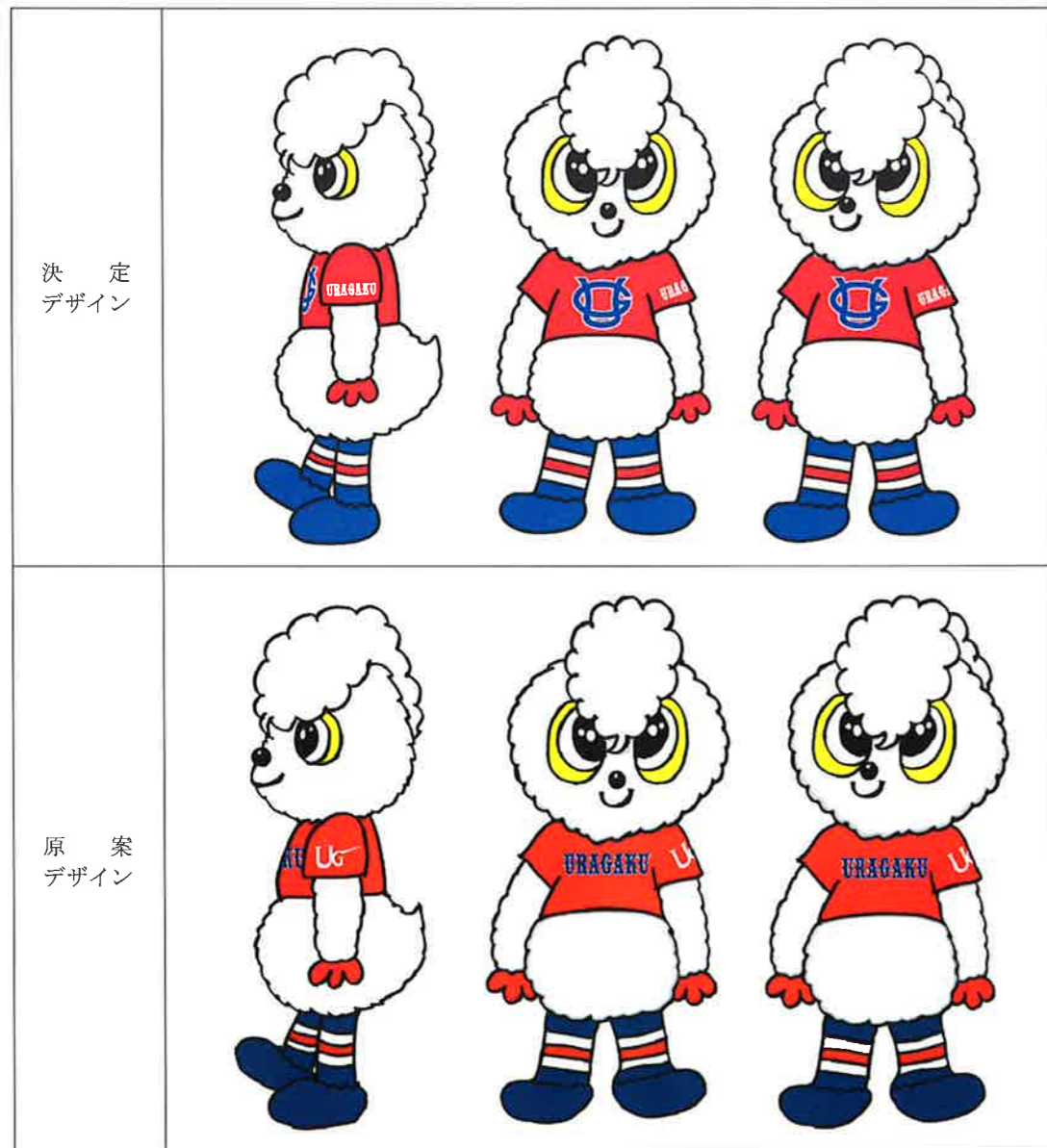
浦和学院高等学校

イメージキャラクター「正式愛称（名前）」公募について（生徒・教職員対象）

浦和学院高等学校
校長 小 沢 友紀雄
（公印省略）

1. イメージキャラクター決定

「頑張る仲間をみんなで応援」を合言葉とした浦学ふぁみり〜の意識高揚、結束力をより一層強めることを目的として募集しました本校のイメージキャラクター（ゆるキャラ）デザインの最終選考の結果についてご報告致します。※カラーイメージは、公式ホームページにてご覧下さい。



2. 結果発表

〈最優秀賞〉1名

加 部 喜久代（保護者） 「ウラガーくん」（但し、この名前は決定しておりません。）

選考理由：ぬいぐるみ感があって良い。目に前向きさ、チャレンジ、意志の強さが表れており、潤んだ感じも良い。尾がはねている所も可愛らしく、やわらかさに優しさも感じさせる。

〈優秀賞〉8名

大 橋 裕 史（1年I組）の保護者	「さぎちゃん」
厚 見 春 名（1年B組）	「うらがっくま」
菊 地 奈 々（1年M組）	「ウラピー」
岡 本 茉里菜（2年E組）	「浦白太郎」
對 馬 由 佳（2年M組）	「しらうらちゃん」
神 尾 匡 祐（1年M組）	「ファイヤーライオン」
五十嵐 麻 衣（1年M組）	「ファイヤーライオン」
塩 崎 紀美子（保護者）	「浦学コサギン」

3. 選考の基準点

- *浦和学院高等学校のビジョンの前向きな姿勢（チャレンジ精神）が感じられること。
- *頑張る仲間を応援する姿勢が感じられること。
- *一部の活動に限ったものでなく、学校全体を対象としていること。
- *強さ、優しさ、可愛らしさが同居した雰囲気があること。
- *構造が複雑でなく、ぬいぐるみとしても皆から愛されるものであること。
- *新しいUGロゴマークが上手く収まること。

選考に対する意見（校長）

上記の条件をほぼ満たしており、白鷺の仲間としてやや擬人化された部分のあるのが良い。鳥は熱い血潮とか、意思の力とかを表現するのがそう簡単ではないが、眼光にチャレンジする力や頑張る仲間を応援する力、そして全体の柔らかさから優しさと可愛らしさが感じられるのがとても良い。

4. イメージキャラクターの名前を募集

浦学キャラクターは白鷺（ ）物語のようなあらすじで名前をつけることになりました。（ ）の中に皆さんで素敵な名前をつけてあげて下さい。

名前はどのようなものでも結構です。（例：太郎・ジョージ・凜太・アスカ・レオ などなど自由な発想で）

白鷺（ ）物語 -----キャラクターの物語

浦学のある辺りはかつて、名勝地「野田のさぎ山」で知られる白鷺の繁殖地であった。1984年まで国の特別天然記念物に指定され、見沼代用水で知られる自然豊かなこの地には、竜神が住んでいたとされる伝説もあり、今でも「見沼たんぼ」として強く地域に根付いている。

あらすじ

むかしむかし、武蔵の国に、見沼という、それはそれはおおきな沼が、ありました。見沼には、たくさんの白鷺ファミリーが住んでおりました。そのファミリーの中にひときわ身体が大きく、ちょっぴりやんちゃな白鷺がおりました。その白鷺はいつも、仲間たちと広い見沼を自由自在に泳ぎまわり、また、見沼の上を 悠々と飛び回っておりました。

ある日、いつものように白鷺が見沼の上を飛んでおりますと、何やら下の方で、今までに聞いたこともない、元気なこどもの声が聞こえてくるではありませんか。「はて、さて、あの子どもたちはいったい誰だろう!？」白鷺は思わず声のする方に飛んでいきました。

ふと気がつくと、見沼の一番はしにおりていました。

見沼の向こうには「うらがく」という学校がありました。そこには、たくさんの先生や生徒たちがおりました。白鷺がじっと耳をすましていると、生徒たちの元気な声が聴こえてきました。生徒たちは、みな口々に「頑張る仲間を皆で応援」とか「うらがくふぁみり～」とか 言うておりました。

それからというもの、白鷺は毎日毎日うらがくの上まで飛んでいき、上空から「うらがく」を眺めました。雨の日も、風の日も、夏の暑い日も、冬の寒い日も。白鷺は1日たりとも休まずに、「うらがく」の上を巡回しました。

ある夏の暑い日、生徒がスポーツで頑張っている姿を見つけると、空の上をくるくると回って、大きな声で一緒に応援しました。

またある寒い冬の日、元気のない生徒を見つけた白鷺は、静かにその生徒のそばにいきました。そして、大きな羽を広げ、その羽の中で生徒を休ませてやりました。

こうして、その白鷺の存在は、徐々にうらがくの生徒たちに知られるようになりました。

桜の季節になりました。白鷺は空の上から新しい生徒や先生たちが楽しそうにうらがくの門をくぐっているのを眺めていました。白鷺はワクワクしました。「もしかしたらぼくもいつかはあの門をくぐって、『うらがくふぁみり～』の一員になれるかもしれない」そう思うと白鷺の胸は高くなりました。

桜の季節が何度か巡りました。

ある時、白鷺は気づいたのでした。仲間達は年々歳をとっていくのに、自分はいつもうらがくの生徒達と同じ年齢であることに。白鷺はいてもたってもいられず、見沼の底に住んでいるという神様に会いにいきました。そして、こう尋ねました。

「見沼の神様、どうか教えてください。ほかの白鷺の仲間達は歳をとっていくのに、どうして僕は歳をとらないのでしょうか？」見沼の神様はこう答えました。

「白鷺よ、よく聴いてくれた。さあ、水に映った自分の姿を見てごらん。お前の望みどおり、これからはずっとその姿でうらがくの生徒たちとともに笑ったり泣いたりするんだよ」

白鷺は沼に映った自分の姿を見てビックリ!!なんと、白鷺には手足がついて、うらがくの生徒とそっくりの姿になっているではありませんか。白鷺は翼のかわりに両腕を上下に動かして、喜びをあらわしました。そして、見沼の神様にお礼を言いました。

「神様ありがとうございます。僕はずっとこの姿でうらがくの生徒達とともに生きていきます。嬉しい時も、悲しい時も、けっしてうらがくの生徒のそばを離れません。」

神様は優しく微笑んで白鷺に言いました。「おまえはいつも『頑張る仲間を皆で応援』ということを自ら率先しておこなっていたね。おまえがそのような素晴らしい行いをこれからも続けていけば、いつの日かきっと、おまえの夢は叶うだろう」「神様、僕が夢をあきらめなければ、いつかは叶うのですね」「ああ、そうだよ。おまえの夢はきっとかなう。いつの日かうらがくの生徒となり、教室で勉強したり、スポーツで活躍したりする日がくるだろう。」

白鷺はそれを聴いて飛び上がらんばかりに喜びました。そして本当に幸せな気持ちになりました。

白鷺は神様に誓いました。「僕はこれからも、うらがくの生徒達の幸せを願って、力の限り応援します!!」と言って、白鷺はまた嬉しさのあまり、両腕を上下に動かしました。

さて、白鷺の物語はこれでおしまい。

～この白鷺は今でも、うらがくの生徒達のそばで、いつでもどこでも、頑張る仲間を応援しています。そして白鷺の嬉しい時のくせは今も健在です。あなたのそばで嬉しい時に両腕を上下に動かしている子はいませんか。

その子は、いつの日か自分の夢がきっと叶うことを信じている、ほらあの白鷺に違いありませんよ。

以上

キリトリ

イメージキャラクター名 応募用紙

1/12(火)担任提出⇒学年広報課担当まで

キャラクターの名前(愛称) _____

理由

生徒: _____ 学年・ _____ 組・番号 _____ 教職員

生徒・教職員氏名 _____